

令和 6 年度 事 業 報 告 書

I 事 業 報 告

1 事業概要

令和6年度の日本経済は、名目GDPが2024年4-6月期に年率換算で600兆円を初めて超え、設備投資も33年ぶりに過去最高を更新し、年率換算106兆円を超えるなど、近年にはない明るい兆しがみられていた。企業部門は堅調さを維持しているものの、賃金・所得の伸びが物価上昇を安定的に上回る状況には至っておらず、個人消費は力強さを欠いた状態が続いていた。埼玉県内の経済情勢においては、全体として持ち直しの動きが見られた。一方、中小企業を取り巻く環境は、円安・物価高の継続や生産・投資コスト増、構造的な人手不足など、依然として厳しい状況にあった。

このような中、当公社は、県内中小企業が抱える様々な経営課題に対し、相談に応じるとともに、DX推進支援を実施した。販路開拓支援として、大型展示商談会の開催や海外ビジネス展開支援を強化した。競争力・付加価値の向上を目指し、セキュラーエコノミーの取組支援や、試作品の開発支援、マッチング支援など、中小企業の発展と県内産業の活性化に資する事業の展開に努めた。

令和6年度に実施した主な取組の概要は以下のとおりである。

(1) 経営支援

① 経営支援

経営革新に取り組む県内中小企業から寄せられる幅広い分野の経営相談に対応するとともに、即戦力人材（プロフェッショナル人材）の採用、事業継続力強化計画策定、事業承継等の支援を行った。

② DX推進支援

県内中小企業のDXを推進するため、埼玉県DX推進支援ネットワークの事務局として、DX推進に関する相談に対応するDXコンシェルジュを配置し、各種相談対応を行うとともに、情報を一元的に発信するウェブサイトの運営管理、マッチング相談、DX推進人材の育成、最新情報や活用事例を紹介するセミナー、埼玉DX大賞の表彰を実施した。

(2) 創業・ベンチャー支援

創業予定者や新規創業者を対象とした相談業務や、各ステージに合わせた創業セミナーを開催するとともに、ベンチャー企業の成長を促進するためのビジネスマッチング等を実施した。また、県内の条件不利地域（過疎法、山村振興法対象エリア）における起業を創出するため、埼玉県起業支援金事務局を運営した。

(3) 販路開拓支援

① 取引振興

昨年度に引き続き、大型展示商談会「彩の国ビジネスアリーナ2025」をリアル展示及びオンライン展示によるハイブリッド形式で実施した。リアル展示会場については、さいたまスーパーアリーナを収容人員数が最大となるスタジアムモードで利用した。このほか、対面形式によるリアル商談会の実施、オンライン上の常設ビジネスマッチングサイトの運営を通じて広域的な受発注取引拡大の機会創出を図った。

② 海外ビジネス展開支援

海外展示会出展や海外向け商品改良の支援、海外テストマーケティングの支援など、海外市场のニーズを踏まえたマーケットイン視点による市場調査等の取組を支援した。また、「埼玉県海外展開サポートデスク」を設置し、海外ビジネス展開に関する県内中小企業のニーズに対し、日本貿易振興機構（ジェトロ）埼玉貿易情報センター（以下、「ジェトロ埼玉」という。）との連携により企業の実情に合わせた支援を行った。

(4) 新産業振興

① イノベーション創出支援

カーボンニュートラルやデジタル化など、企業を取り巻く環境が変化する中、マッチング支援や試作品の実証試験支援等により、新技術・新製品の開発や販路開拓を支援した。

② 産学連携支援

県内中小企業における産学連携による新技術・新製品の開発を促進するため、大学や研究機関とのマッチング、競争的資金の獲得、事業化などを支援した。

③ 知的財産活用支援

知的財産の創造・保護・活用を促進するため、ワンストップで知的財産に関する相談に対応した。また、知的財産を活用した経営戦略の策定支援を実施した。

④ 事業多角化・業態転換支援

E Vシフトや脱炭素化を背景に、産業構造や市場ニーズが急速に変化する中、業態転換や新分野への進出を目指す自動車関連の県内中小企業を支援した。

⑤ ロボット開発支援

県が整備する「SAITAMA ロボティクスセンター（仮称）」の開所に向けて、県内中小企業のロボット産業への参入を促進するため、セミナー・研究会を開催したほか、サービスロボットの試作品開発を支援した。

⑥ サーキュラーエコノミーの推進

製品の生産活動から利用、廃棄までのあらゆる段階で資源の効率的・循環的な利用を図り、新たな付加価値を生み出す循環経済（サーキュラーエコノミー）に取り組む県内企業を支援した。

(5) 人材育成・情報支援

① 人材育成

新入社員、中堅社員、管理職、経営幹部という各層に合わせた階層別研修や、生産現場における効率化、品質向上を図る生産力向上研修などを総合的・体系的に実施し、県内中小企業の人材育成を支援した。

② 情報支援

情報誌や会員優待セミナー等を通じて企業経営に役立つ情報を幅広く提供するとともに、デジタルスキルアップ研修等を実施して県内中小企業におけるデジタル技術の有効活用を支援・促進した。

2 評議員会開催状況

日付	事項	摘要
4月 1日	第1回評議員会	理事の選任
6月 12日	第2回評議員会	令和5年度事業報告及び決算並びに評議員、理事及び監事の選任

3 理事会等開催状況

日付	事項	摘要
4月 1日	第1回理事会	評議員会の招集（理事の選任）
4月 1日	第2回理事会	専務理事の選定
5月 14日	監事監査	令和5年度事業報告書及び決算報告書(案)の監査
5月 20日	第3回理事会	令和5年度事業報告及び決算（案）及び事業計画の一部変更及び収支予算の補正等
6月 12日	第4回理事会	理事長および専務理事の選定
11月 7日	第5回理事会	令和6年度事業中間報告
3月 14日	第6回理事会	令和7年度事業計画及び予算（案）及び令和7年度事業費の借入限度額（案）等

4 評議員の異動状況

就任

役職名	氏名	就任日	備考
評議員	江原貞治	6月 12日	

退任

役職名	氏名	退任日	備考
評議員	三村喜宏	6月 12日	

5 役員の異動状況

就任

役職名	氏名	就任日	備考
専務理事	小川美季	4月 1日	

退任

役職名	氏名	退任日	備考
専務理事	田中健	4月 1日	

就 任

役 職 名	氏 名	就 任 日	備 考
理 事	南 まゆ子	6月12日	

就 任

役 職 名	氏 名	就 任 日	備 考
理 事	浪 江 治	6月12日	

II 事業実施状況

1 経営支援

(1) 経営支援

① よろず支援拠点事業

県内中小企業・小規模事業者の経営支援体制を更に強化するため、国の中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業を受託し、埼玉県内の「よろず支援拠点」の実施機関として、総合的・先進的経営支援を実施した。

ア チーフコーディネーター、サブチーフコーディネーター、コーディネーターの配置	39名
イ よろず支援拠点相談件数	20,830件
ウ よろず支援拠点課題解決件数	660件

② 中小企業高度人材支援事業（プロフェッショナル人材戦略拠点）

即戦力人材（プロフェッショナル人材）の活用を通じて、県内中小企業が新たな取組に積極的に挑む「攻めの経営」に転換し、経営革新を進められるよう、プロフェッショナル人材戦略拠点を運営し、人材のマッチングをサポートした。

ア マネージャー、サブマネージャーの配置	7名
イ 相談件数	789件
ウ マッチング成約件数	262件
（うちデジタル人材マッチング）	134件)
エ セミナー（7回）	

開催日	テーマ	参加社数
5月29日	プロフェッショナル人材戦略拠点の紹介 (川口信用金庫)	27社
8月5日	プロフェッショナル人材戦略拠点の紹介 (春日部商工会議所)	7社
8月30日	プロフェッショナル人材戦略拠点の紹介 (杉戸町商工会)	21社
11月21日	プロフェッショナル人材戦略拠点の紹介 (埼玉信用組合)	37社
1月29日	中小企業必見！副業・兼業人材活用で人手不足を解決する方法 (プロフェッショナル人材戦略拠点)	31社
3月6日	即戦力につながる人材獲得メソッド (埼玉県産業振興公社)	37社
3月19日	即戦力につながる人材獲得メソッド (春日部商工会議所)	15社

③ 中小企業三大課題集中取組事業

県内中小企業の重要課題である「事業承継」「人手不足対応」「外国人材活用」の専門的知見を有するアドバイザーが課題解決を支援した。

ア アドバイザーの配置	3名
イ 診断、課題整理件数	402件
ウ 課題解決件数	129件
エ 事業承継セミナーの開催	2回

④ B C P策定支援事業

感染症対策を含む事業継続力強化計画の普及を図るため、計画策定支援を実施した。

ア アドバイザーの配置	3名
イ 事業継続力強化計画策定支援	156社
ウ セミナー・ワークショップの開催	23回
エ 業種別記入例作成	6業種

⑤ 支援専門家の派遣

ア 専門家派遣を行うため、支援専門家の登録を実施した。

支援専門家の登録者数	内訳
246人 *複数資格保有者がいるため、登録者数と内訳の合計は一致しない。	中小企業診断士 130人 企業等OB人材 50人 技術士 19人 マネジメントシステム専門家（ISO等） 15人 IT関係専門家 15人 公認会計士・税理士 7人 社会保険労務士 11人 弁護士・司法書士・弁理士 7人 販売士 10人

イ 経営、技術などに関する課題を解決するため、支援専門家を活用して診断助言を実施した。

支援企業数	派遣日数	主な支援テーマ
20社	150日	・人事評価制度の構築 ・ISO9001に準じた規程類の整備 ・自工会ガイドラインに準じた情報セキュリティ対策 など

⑥ マネジメントシステム導入支援

ア マネジメントシステム導入支援

ISO等のマネジメントシステムを構築しようとする中小企業へのコンサルティングを実施した。

事業名	実績	派遣回数	概要
ISO等マネジメントシステム導入支援	7社	57回	<支援先内訳> IS09001 4社 ISO13485 1社 ISO2700 1社 IS09001/JISQ9100/ISO13485 フォローアップ支援 1社

イ B C P 導入支援

災害等の発生時における迅速な復旧と事業継続を目的に、中小企業における事業継続計画(B C P)の策定支援を実施した。

事業名	実績	概要
B C P 導入支援	7社	派遣回数 30回 <支援先内訳> 中小企業庁版B C P(基本) 2社 B C P簡易訓練 4社 B C Pフォローアップ支援 1社

⑦ 経営診断等事業

中小企業診断士資格を有する公社職員を活用し、川口市から中小企業の経営診断等を受託した。

事業名	実績	概要
起業相談会	11回	相談件数 16件
地域貢献診断	12件	企業数 12社
創業計画	1件	企業数 1社

⑧ 若手経営者支援【フォース21】

経営トップとしての資質の向上、人的ネットワークづくりや情報収集体制の構築等を支援するため、県内中小企業の後継者・若手経営者の交流組織「フォース21」を運営し、全体会及びグループ例会を開催した。(令和7年3月末現在9グループ、101名)

内容	実績
全体会	2回
グループ例会	42回

⑨ 経営相談の実施

職員等による窓口相談、弁護士による法律相談を実施した。

相談件数	主な相談内容
1,429件	経営全般(下記以外) 401件 事業承継 499件 B C P 330件 I S O 142件 マーケティング 46件 法律 9件 技術 2件

(2) DX推進支援

① DXコンシェルジュ（オーダーメイドタイプ）による総合相談の実施

- | | |
|----------------------------|------|
| ア DXコンシェルジュ（オーダーメイドタイプ）の配置 | 3名 |
| イ 相談件数 | 276件 |
| ウ オーダーメイド型伴走支援（戦略策定）企業数 | 15社 |

② デジタルテクノロジーの普及・導入支援

- ア DX推進セミナーの開催

A I・I o Tに関する最新技術動向や活用事例を紹介するセミナーを開催した。

開催日	テーマ	参加者数
6月13日	令和6年度における埼玉県や各関係機関のDX施策について	77人
9月13日	生成AIのビジネス利用と中小企業における活用ポイント	156人
1月17日	ローコード・ノーコードで変わる中小企業の未来	133人
2月14日	人手不足解消に向けたデジタル戦略	81人
3月4日	事例から学ぶ「攻め」と「守り」のDX	77人
3月13日	利益を生むDXと人財育成の実践戦略	74人

- イ 先進企業視察

中小企業向けにA I・I o Tに関する先端技術を習得する研修を開催した。

開催日	テーマ	参加者数
9月10日	DX先進事例視察研修（オンライン視察）① 視察先：(株) フジワラテクノアート（岡山県岡山市）	50人
2月4日	DX先進事例視察研修（オンライン視察）② 視察先：浜松倉庫（株）（静岡県浜松市）	47人

③ DXコンソーシアムの運営

- ア 埼玉県A I情報サイトの運営管理

- (ア) 掲載コンテンツの更新 12回

④ ワンストップウェブサイトの運営管理

- | | |
|--------------|-------|
| ア 運営管理 | 更新74回 |
| イ 支援メニュー掲載 | 64件 |
| ウ 掲載コンテンツの充実 | 20件 |

⑤ DX推進ネットワークの運営

- | | |
|---------------------|----|
| ア DX推進支援ネットワーク会議の開催 | 4回 |
| イ DXセミナー等開催（構成機関向け） | 4回 |

⑥ DX推進支援パートナーズ事業

ア	DXコンシェルジュ（マッチングタイプ）の配置	3名
イ	マッチング相談	298件
ウ	マッチングセミナー	10回
エ	マッチング	355件

⑦ DX推進人材育成講座

ア	DX推進人材育成講座（補助金）	16件
イ	DX推進人材育成講座（コンシェルジュ派遣）	13件

⑧ 埼玉DX大賞の実施

ア	埼玉DX大賞の実施	1回
---	-----------	----

⑨ 埼玉DXファーストステップ企業の選定

ア	埼玉ファーストステップ企業の選定	1回
---	------------------	----

⑩ サービス産業事業者デジタル技術活用支援

ア	DXコンシェルジュ（商業タイプ）の配置	3名
イ	デジタル活用相談	197件
ウ	DXセミナー開催	11回

開催日	テーマ	参加者数
6月7日	第3回中小企業向けDX推進セミナー（埼玉りそな銀行・埼玉県情報サービス産業協会との共催）	50人
7月9日	第1回DX普及セミナー 「ここから始める情報発信」	36人
8月21日	第1回DX実践セミナー 「顧客心理の基礎～ここからはじめるマーケティング～」	25人
9月18日	第2回DX実践セミナー 「今すぐ始めよう！顧客情報収集のテクニック」	24人
9月26日	加須市商工会連携セミナー 「Google Business Profile活用の基本をチェックしよう！」	18人
10月8日	第2回DX普及セミナー 「もっと集客するためのHP活用術」	34人
10月23日	第3回DX実践セミナー 「顧客情報活用のためのファーストステップ」	31人
11月6日	第4回DX実践セミナー 「購買情報を活用したマーケティング戦略」	17人
11月22日	新座市商工会連携セミナー 「ホームページ、SNSをいま以上に活用したい方へ～あなたのお店からの『情報発信』を考える～」	24人
11月27日	第5回DX実践セミナー 「ECでもファンづくり！～誰でも始められるテクニックとは～」	19人
12月12日	第4回中小企業向けDX推進セミナー（埼玉りそな銀行・埼玉県情報サービス産業協会との共催）	27人

2 創業・ベンチャー支援

① 創業相談

創業前、創業時、創業後の相談者の各ステージの課題解決を図るため、経験豊富な開業アドバイザーなどを配置して相談に対応するとともに、より専門的な相談に対しては、司法書士や税理士等の士業団体との連携による専門相談会を実施した。

ア 開業アドバイザー・女性創業支援アドバイザーの配置 14名

イ 相談件数 3,325件
(うち 専門相談 29件 女性創業相談 1,909件)

ウ 公的融資申請支援件数

内 容	申請受付件数
埼玉県制度融資	2件
日本政策金融公庫	25件

エ 創業件数 310件

② 創業セミナー等の開催

創業までの心構えから創業後のマーケティングまで、創業の各ステージに合わせたセミナー等を開催した。

ア 創業セミナー

内 容	開 催 日	参加者数
起業入門セミナー&プチ交流会	① 4月24日	32人
創業者のためのWeb活用セミナー	① 5月28日 ② 10月22日	17人 20人
エリアコミュニティで起業しよう！～創業起業セミナー&県西部のエリアコミュニティを見に行こう！～	① 7月6日 ② 8月3日 ③ 9月7日 ④ 9月28日 ⑤ 10月19日	18人 14人 15人 15人 9人
初心者のためのネットショップ解説セミナー（オンライン）	① 7月9日 ② 12月10日	15人 24人
ビジネスプラン作成ワークショップ 第1回（2日間）	8月9日 8月23日	21人 17人
ビジネスプラン作成ワークショップ 第2回（2日間）	2月14日 2月28日	16人 13人
創業者のためのSNS活用セミナー（オンライン）	① 9月10日 ② 2月27日	42人 28人
令和6年度 SAITAMA Start-up School 創業スクール	① 11月1日 ② 11月15日 ③ 11月22日 ④ 12月13日	31人 30人 26人 26人

内 容	開 催 日	参加者数
成功につなげる！経営に関する税金知識&創業計画書の作り方	12月4日	65人
個人事業主のための確定申告解説セミナー	2月7日	32人
計	22回	526人

イ オンデマンド（録画配信）セミナー

内 容	開 催 日	参加者数
起業準備セミナー（入門編）	① 8月31日 ② 12月31日 ③ 3月20日	89人 47人 45人
起業準備セミナー（ビジネスプラン作成編①）	① 8月31日 ② 12月31日 ③ 3月20日	30人 43人 44人
起業準備セミナー（ビジネスプラン作成編②）	① 8月31日 ② 12月31日 ③ 3月20日	17人 27人 25人
起業準備セミナー（起業実務手引き編）	① 8月31日 ② 12月31日 ③ 3月20日	63人 37人 33人
創業者のための販路開拓の基礎	① 8月31日 ② 12月31日 ③ 3月20日	72人 41人 35人
創業者のための求人・雇用の基礎	① 8月31日 ② 12月31日 ③ 3月20日	68人 68人 64人
創業者のための経理の基礎	① 8月31日 ② 12月31日 ③ 3月20日	30人 28人 35人
創業者のための税務の基礎	① 8月31日 ② 12月31日 ③ 3月20日	13人 24人 23人
創業者のためのインボイス解説	① 8月31日 ② 12月31日 ③ 3月20日	10人 5人 12人
法人設立のポイント解説	① 8月31日 ② 12月31日 ③ 3月20日	29人 11人 10人
在宅ワーク編	① 8月31日 ② 12月31日 ③ 3月20日	10人 4人 4人
計	33回	1,096人

ウ 市町村連携セミナー

内 容	開 催 日	参加者数
起業へ一歩前進セミナー in 戸田	7月 8日	25人
シニアのための起業入門セミナー in 羽生	7月 23日	16人
起業入門セミナー in 鴻巣	7月 31日	18人
起業入門セミナー in 川島町	10月 17日	15人
副業から始める起業入門セミナー in さいたま	10月 23日	35人
副業を始める方の販路開拓基礎セミナー in さいたま	11月 6日	28人
起業入門セミナー（小川町&嵐山町合同開催）	11月 21日	22人
起業実務手引きセミナー in 戸田	11月 27日	31人
こしがや創業塾（4日間）	11月 30日 12月 7日 12月 14日 12月 21日	16人 19人 17人 16人
創業者のためのWebマーケティングの基礎セミナー in 戸田	12月 4日	25人
起業実務手引きセミナー in 川口	12月 18日	33人
副業から始める起業入門セミナー in 戸田	2月 5日	28人
起業へ一歩前進セミナー in 白岡	2月 6日	18人
私にもできる！起業・副業入門セミナー in 三郷	2月 18日	20人
シニアのための起業入門セミナー in 上尾	3月 26日	34人
計	18回	416人

③ 女性の創業支援

ア 女性起業支援施設の運営

女性起業支援ルーム「COCOオフィス」を管理・運営し、利用者からの相談にアドバイザーが対応するとともに交流会等を開催した。

- | | |
|------------|-------------------|
| (ア) 利用者数 | 27名 |
| (イ) 相談件数 | 204件（再掲：女性創業相談件数） |
| (ウ) 成果報告会等 | 3回 参加者数 38名 |

イ 女性創業支援チームの運営

女性創業支援アドバイザー4名を配置し、女性のビジネスの立ち上げ時から成長期までの創業相談などに対応した。

ウ 女性創業セミナー

開 催 日	開催日	参加者数	会 場
COCOオープンセミナー	6月 11日	38人	新都心ビジネス交流プラザ
プチ起業セミナー熊谷	6月 25日	18人	埼玉県立熊谷図書館

エ 女性創業スタートアップ塾

開催日	延べ参加者数	会場
5月24日	29人	新都心ビジネス交流プラザ
6月7日	28人	
6月21日	29人	
7月5日	28人	
7月24日（全5日間）	26人	

オ 市町村等連携による女性のための起業入門セミナー等

市町村	開催日	参加者数	会場
戸田市（2日間）	1月29日	15人	戸田市商工会館
	2月5日	12人	
蓮田市	3月4日	20人	蓮田駅西口行政センター

カ 県人材活躍支援課との連携による女性のための起業入門セミナー

開催日	参加者数	会場
8月6日	94人	オンライン

キ 女性創業者交流会

開催日	参加者数	会場
5月16日	8人	春日部ふれあいキューブ
11月8日	48人	新都心ビジネス交流プラザ
12月20日	24人	新都心ビジネス交流プラザ

④ 社会課題の解決につながる創業支援

新しい技術やアイデアにより社会課題の解決を図ろうとする社会起業家に対し、ビジネスプランの実現を支援することを目的に伴走型の起業家育成プログラムを開催した。

開催日	参加者数	会場
8月24日	17人	新都心ビジネス交流プラザ
9月21日	17人	新都心ビジネス交流プラザ
10月5日	17人	新都心ビジネス交流プラザ
11月9日	12人	現地講義：(株)リズム（川口市）
12月14日	15人	新都心ビジネス交流プラザ
1月25日	15人	新都心ビジネス交流プラザ
2月22日	13人	新都心ビジネス交流プラザ
3月8日（全8日間）	16人	新都心ビジネス交流プラザ

⑤ 起業支援金埼玉県事務局運営

県内の条件不利地域（過疎法、山村振興法対象エリア）における起業を創出するため、対象地域10市町村（秩父市、飯能市、本庄市、ときがわ町、横瀬町、長瀬町、皆野町、小鹿野町、東秩父村、神川町）で社会課題を解決する起業をした者に対し起業支援金を交付した。

- ア 補助金交付 6件（採択7件）
イ 補助金交付額 6,630,758円

⑥ ベンチャー成長支援

- ア 彩の国ベンチャーマーケットの開催

資金調達や販路開拓、事業提携などの課題を抱えるベンチャー企業を対象に、ベンチャーキャピタルや金融機関、大手企業、行政機関等との出会いの場を設けるとともに、「彩の国ビジネスアリーナ2025」に出展しビジネスマッチングを図った。

開催日	事業名	出場企業数	来場者数
1月22日	令和6年度彩の国ベンチャーマーケット	7社	83人

- イ 交流会の開催

成功した創業者の体験談や創業者同士の交流の機会を通じて、起業家としての成長及び同業種及び異業種とのネットワーク構築を支援する交流会を開催した。

開催日	内 容	参加者数	備 考
3月19日	創業者のための講演&交流会 【講演】 「創業から10年で注目の社会的企業へ成長するまでの軌跡と地域社会課題解決への挑戦」 講師：街活性室株式会社 代表取締役 齋藤 徹 氏	30人	会場：新都心ビジネス交流プラザ4階 会議室

3 販路開拓支援

(1) 取引振興

① 販路開拓支援

中小企業が有する加工技術や製品等を幅広くPRすることで受注拡大・販路開拓を図る展示会「彩の国ビジネスアリーナ2025」をリアル・オンラインでのハイブリッド形式で実施するとともに、対面形式による商談会の実施を通じて受発注取引の促進を図った。

ア 商談会等の開催等

事 業 名	実 績
彩の国ビジネスアリーナ 2025	リアル展示 1月22日・23日 出展者 644企業・団体 来場者 15, 423人 オンライン展示 1月17日～31日 出展者 654企業・団体 (うちオンライン展示限定10企業・団体) 来場者 21, 152人
広域商談会	関東5県ビジネスマッチング商談会 9月6日 東京都立産業貿易センター 発注企業 121社／受注企業 219社うち県内47社 商談件数 294件 九都県市合同商談会 1月22日 さいたまスーパーアリーナ 発注企業 90社／受注企業 221社うち県内66社 商談件数 228件
地域別商談会	上尾版ビジネス商談会 10月24日 上尾市文化センター 発注企業 5社／受注企業 21社 商談件数 37件 川口地域・受発注企業商談会 11月21日 川口駅前市民ホール フレンディア 発注企業 15社／受注企業 39社うち県内31社 商談件数 93件 東部地域ビジネスマッチングフェア 2月27日 埼玉県東部地域振興ふれあい拠点施設 発注企業 11社／受注企業 41社うち県内37社 商談件数 67件 ※西部地域産業ミニ商談会については主催商工団体の計画見直しにより中止となった。

イ 取引あっせん件数及び成約件数

- (ア) あっせん件数 3, 245件
(イ) 成立件数 296件

② 常設ビジネスマッチングサイトの運営

オンラインを活用したビジネスマッチングサイト「サイタマ・サプライヤー・サーチエンジン」を運営し、受発注取引に係る情報の発信を通じて受注企業の取引拡大を支援した。

登録企業数	受注企業	486社
	受発注企業	31社
	発注企業	88社
発注案件数	14件	

③ 取引マッチングの推進

取引マッチングコーディネーターを配置し、企業訪問等を通じて、発注案件の開拓、受注ニーズの把握、商談会等実施後及びあっせん後のフォローアップ等を行うことで受注企業の取引拡大を支援した。

ア 訪問企業数 359社（発注企業118社／受注企業241社）

イ 発注案件数 103件

④ 受発注情報の収集・発信

受発注企業の巡回訪問を通じて受発注取引に係る企業ニーズを収集するとともに、発注企業の外注計画や受注企業の設備状況等に関する調査を実施した。

ア 受発注企業巡回訪問

職員が受発注企業を巡回訪問し、発注案件の開拓及び受注ニーズの把握により受注企業の取引拡大を支援した。

訪問企業数 40社（発注企業12社／受注企業28社）

イ 調査情報提供

取引あっせんを行うための基礎情報として、主要発注登録企業における外注計画等の動向を把握するための調査や、受注登録企業における最新の事業概要・保有設備等の実態を把握するための調査を実施した。

事業名	概要	実施回数
新規外注計画調査	発注登録企業を対象として外注計画の動向等を調査 第1回 5月20日～6月3日 調査対象企業 970社 回答企業 127社（回答率13.1%） うち新規開拓取組あり82社（64.6%）	2回
	第2回 11月12日～25日 調査対象企業 1,026社 回答企業 129社（回答率12.6%） うち新規開拓取組あり89社（69.0%）	
受注登録企業 設備調査	受注登録企業を対象として保有設備等の実態を調査 2月13日～27日 調査対象企業 832社 回答企業 236社（回答率28.4%）	1回

⑤ 取引に関する相談

下請かけこみ寺を通じて中小企業が抱える取引上の様々な相談に対応し、下請取引の適正化を図った。

ア 相談件数 307件

イ 主な相談内容 代金の支払い遅延対応、代金の減額対応 ほか

(2) 海外ビジネス展開支援

① 世界を彩る「埼玉ビジネス」海外展開プロジェクト

海外の顧客ニーズを踏まえた市場調査等の取組を支援するとともに、ジェトロ埼玉との連携を図りながら海外ビジネス展開を目指す県内中小企業への支援体制を強化した。

ア 埼玉県海外展開サポートデスクの設置による海外ビジネス相談

海外展開支援事業統括コーディネーター・アドバイザー5名を配置し、海外ビジネス展開に関する企業からの相談等に対し、ジェトロ埼玉との連携を図りながら企業の実情に合わせた支援を行った。

相談件数 512件

イ 埼玉県海外マーケティング推進コンソーシアムの設置・運営

海外ビジネス展開を目指す県内中小企業と中小企業支援機関等の交流の場を構築し、輸出に関するテーマの講演等を通じた情報提供や企業ニーズに基づく支援機関等とのマッチングの機会提供を行った。

(ア) 登録会員数 185者

うち、一般会員（海外ビジネス展開を目指す県内） 99者

協力会員（中小企業支援機関等） 86者

(イ) イベント開催実績

開催日	概要・会場	参加者数
8月28日	キックオフイベント 講演・グループディスカッション・交流会 新都心ビジネス交流プラザ会議室	103人
12月16日	分科会－工芸品・日用雑貨品編－ 講演・グループディスカッション・個別相談会 新都心ビジネス交流プラザ会議室	29人
2月25日	分科会－食品編－ 講演・グループディスカッション・個別相談会 ソニックスティビル会議室	32人
3月5日	海外展開サポートセミナー（ハイブリッド開催） 「初めての海外展示会を成功させる！」 公社研修室B	21人
3月24日	海外展開サポートセミナー（オンライン開催） 「埼玉の食品をタイへ！日本産食品の市場動向と食品認証を学ぶ」	25人

ウ 海外マーケティングセミナーの実施

連続セミナーを通じて、海外マーケティング戦略策定に必要な海外有望市場に関する最新情報の提供やマーケティング手法の解説等を行った。

(ア) 実施回数 全6回

(イ) 延べ参加者数 121人

エ 海外テストマーケティングの支援

海外バイヤー等の評価に基づく商品改良等に関するアドバイスや海外でのポップアップショッピングへの出品を通じて、「マーケットイン」視点によるマーケティングリサーチの取組について支援を行った。

国・地域	分野	支援企業数	商品数
台湾	日用雑貨品・工芸品	11社	61商品
	食品	6社	20商品
ベトナム	食品・日用雑貨品・工芸品	10社	22商品
マレーシア	食品・日用雑貨品・工芸品	14社	56商品

オ 海外展示会出展及び海外向け商品改良の補助

海外ビジネス展開に取り組む県内中小企業を対象とし、海外で開催される展示会への出展や海外市場のニーズに合わせた商品改良の取組を支援する補助金を交付した。

補助金名	交付件数	交付額
海外展示会出展支援事業補助金	12件	8,818千円
海外向け商品改良支援事業補助金	13件	9,181千円

カ 展示会等を活用した海外支援機関等とのマッチング支援

ビジネスマッチングイベント「彩の国ビジネスアリーナ2025」会場内に設置したグローバルコーナーに支援機関を招待し、海外ビジネス展開を目指す県内出展企業等との交流の場を提供した。

招へい支援機関数 8機関

キ 国際情勢勉強会の実施

嘉悦大学副学長の真田氏を講師に迎えた国際情勢勉強会を実施し、県内企業の国際競争力の強化を図った。

- (ア) 実施回数 12回
(イ) 延べ参加者数 531人

4 新産業振興

(1) イノベーション支援

① 技術開発・製品開発支援

ア 相談対応の実施

コーディネーターが新技術・新製品の開発等に関する相談に対応した。

- (ア) コーディネーター 9名
(イ) 相談件数 1, 664件

イ 補助金獲得セミナーの開催

国庫補助金等の獲得支援セミナーを開催した。

開 催 日	内 容	参加者数
2月 4日	補助金活用セミナー	50人
3月 11日	補助金活用に向けた事前準備と申請書作成のポイントセミナー	34人

ウ 技術開発セミナーの開催

新たな技術・製品の開発を支援するため、技術力向上につながるセミナーを開催した。

開 催 日	内 容	参加者数
11月 1日	カーボンナノチューブ活用セミナー	30人
1月 22日	「ゴミから感動をつくる」、100%食品廃棄物でつくる新素材	20人
1月 22日	介護人材不足、介護業務の負担軽減の切り札、介護テクノロジー・見守りシステムの開発	10人
1月 23日	埼玉工大の地域公共交通への自動運転技術導入の取り組み	24人
1月 23日	自社製品を活かしたイノベーション事業へチャレンジ～冷温水循環式・閉鎖型陸上養殖システムの開発～	14人

② 企業マッチング支援

販路開拓を支援するため、集団マッチング会や個別マッチングを実施した。

- ア 集団マッチング会 3回
イ マッチング件数 268件

③ 試作品実証試験支援

新たな技術を活用した試作品の実証試験に必要な費用を補助するとともに、コーディネーターによる支援を行った。

- ア ロボット手術を対象とした新発想の手術器具
イ クラウドDER省エネ制御システム装置の改良・実証

- ウ 六価クロム浄化剤の能力向上を図り建設リサイクル法の促進に寄与
- エ 地震時の美術品や文化財などの保護を目的に人工流動化現象を応用した免振装置の新規開発
- オ iPhoneを用いたMixed Reality人工関節手術ナビゲーションの精度検証
- カ リチウムイオン電池用MLM3Dセパレータ使用のMLMスポンジ加工
- キ 動物実験代替を目指したSMART試作によるマイクロ流体チップ
- ク 小型水力発電装置を用いたスマート農業向け環境発電システムの検討
- ケ ワイヤレス充電搭載ドローンを用いた定時飛行監視システムの実証

(2) 産学連携支援

① 産学連携相談等の実施

コーディネーターを2名配置し、県内中小企業からの産学連携相談に応じるとともに、大学・研究機関とのマッチングや競争的資金の獲得などを支援した。また、産学連携ネットワークマネージャー1名を配置し、大学・研究機関の有望な技術シーズの開拓などを実施した。

内 容	実 績
産学連携相談件数	1, 656件
マッチング支援件数	197件
競争的資金獲得支援件数	25件（うち獲得件数19件）

② 産学連携支援ネットワーク会議の開催

県内で産学連携に取り組む機関で構成する「埼玉県産学連携支援ネットワーク会議」を運営し、情報交換や支援事業の検討を行った。

開 催 日	内 容	参加者数
5月21日 幹事会	(1) 令和6年度産学連携支援事業について (2) 報告事項他	10構成機関 21人
6月21日 連絡会議	(1) 令和6年度ネットワーク会議・構成機関について (2) 令和6年度産学連携支援事業について (3) 令和6年度ネットワーク会議・構成機関の産学連携事業計画について (4) その他事務連絡	31構成機関 54人
3月11日 総会	(1) 令和6年度事業報告 (2) 構成機関からの情報提供 (3) 令和7年度活動計画	32構成機関 45人

③ 産学連携に関する情報提供、交流の促進

大学・研究機関の産学連携技術シーズ発表会や産学連携フェア、企業ニーズマッチング会の開催などにより産学連携のマッチングを促進した。また、メールマガジンによる情報発信を行った。

ア 産学連携技術シーズ発表会

開催日・テーマ	内 容	参加者数
配信期間 7月22日～ 8月 2日 第1回 産学連携技術シーズ発表会 【材料・化学分野】	第1講演 アルコールを原料にした水素と付加価値物質の同時電解合成 第2講演 注目の有機金属構造体（MOF）で拓くハイブリッド素材の未来 第3講演 腐敗臭も可視化！アンモニアなどいろいろなガスを色で検出 第4講演 偽造防止やトレーサービリティを実現できるプラズモニック・ナノタグ	120人

開催日・テーマ	内 容		参加者数
	第5講演 第6講演 第7講演	事前の穴開け加工が不要なリベット接合～CFRPと金属との接合～ 酸化物材料の熱膨張挙動の制御－マイナスからプラスおよびゼロ膨張を目指して－ 食品添加物からつくる環境負荷の低い新規腐食抑制剤	
配信期間 9月 2日～ 9月 20日 第2回 産学連携技術 シーズ発表会 【AI・ロボット分野】	第1講演 第2講演 第3講演 第4講演 第5講演 第6講演 第7講演 第8講演 第9講演 第10講演	位置情報ビッグデータを用いた歩きやすい観光まちづくり支援システム 後付け機構で自由に動作を変えられる空気圧ソフトアクチュエータ 静かで安全な飛行を実現する手のひらサイズの蝶型はばたきロボット ロボットソリューションで切り拓く未来の農業：持続可能な食糧供給への挑戦 プライバシーを守りながらパーソナルデータを最大活用するためのAI技術 材料や食品などの深部組成や異物を可視化できる分光画像技術 AIを用いた動作のリアルタイム予測 人間支援を目的とした知的システム・ロボット技術 ヒト並みの速さと発揮力を持つ燃焼駆動型人工筋肉アクチュエータ 機械学習におけるコンピュータグラフィックス技術の利用	107人
配信期間 10月 15日 ～25日 第3回 産学連携技術 シーズ発表会 【バイオ・医療・食品・農業分野】	第1講演 第2講演 第3講演 第4講演 第5講演 第6講演 第7講演 第8講演	スポーツ頭部外傷に伴う脳内物質の変化と生体の変化の可視化に関する研究、冷却（療法）による生体への影響と最適温度による臨床効果 顧客志向による問題解決型医療・健康福祉機器等のデザイン研究 再生医療の未来を拓くDLC細胞培養制御技術 医療現場に革命を起こすヒアルロン酸誘導体 診断・食品・環境の未来を拓く次世代遺伝子センシング技術 酵素反応に注目した小麦粉加工品の風味デザイン 共生微生物を利用する昆虫に学ぶ 地域未活用資源/有機廃棄物の資源循環に向けて	92人

開催日・テーマ	内 容		参加者数
配信期間 11月25日～ 12月11日 第4回 産学連携技術 シーズ発表会 【エレクトロニクス・製造技術分野】	第1講演	ものづくりのDXを加速する生産ラインの状態監視技術の研究	72人
	第2講演	フライス加工のエッジ品質(バリ・コバ欠け)を加工前に知る! 考案した予測手法の紹介	
	第3講演	機械学習や量子コンピュータを用いた電波伝搬シミュレーション法	
	第4講演	簡便・低コスト化を実現する立体フォトマスクを用いた3次元レジストパターン形成の新方法	
	第5講演	車載計測データに基づくドライバの潜在的な異常検知技術	
	第6講演	低消費電力・広帯域電圧制御発振回路	
	第7講演	自転車の走行状態計測と不安全走行の判別	
	第8講演	鋳造から始めるデジタルものづくり	
	第9講演	放射線による半導体の誤動作率を迅速・低成本に評価する技術	
	第10講演	フルフェイス作業の新常識! 安全・快適ツールでピタッと固定	
	第11講演	光・電波制御の最前線! 微細構造体が創る高機能部材	
配信期間 2月17日～28日 第5回 産学連携技術 シーズ発表会 【環境、エネルギー分野】	第1講演	都市の安全を守る! 簡便な浸水予測ソリューション	60人
	第2講演	長寿命バッテリーを制するシリコン負極! 全固体化への道を拓く	
	第3講演	薄膜技術と真空技術を活用した全固体電池の開発研究	
	第4講演	ヒートポンプ用ファンの開発	
	第5講演	微生物を用いたレアメタルの回収技術の開発	
	第6講演	発泡メラミン樹脂セパレータによるリチウムイオン電池のハイレート化	
	第7講演	強風や突風の危険性をリアルタイムで把握! 気象場の客観解析と積乱雲危険度予測技術	
	第8講演	冬に起こる様々な現象を実験室レベルで再現できる世界最大規模の施設と雪氷用X線・MRI等の独自雪氷分析技術の紹介	
配信期間 11月5日～15日 第1回 大学シーズ	第1講演	ハイブリッドMEMSの取り組み	73人
	第2講演	100年後も使える人に優しいフライホイール発電機～電気を貯める蓄電池の代替技術の提案と産業応用～	
	第3講演	シープドッグシステムにおける誘導経路設	

開催日・テーマ	内 容		参加者数
マッチング会 in日本大学	第4講演 第5講演 第6講演 第7講演	計と群制御 小規模施設の加速器から生成されるパラメトリックX線を用いたX線位相コントラスト撮影 全身投与した細菌由来LPSの作用の行動学的および生化学的解析 薬効を保持する分子複合体技術を基盤とした、医薬品の品質向上を目的とする製剤設計 脂肪を蓄える細胞から脂肪を燃焼する細胞へ変化させる～新規抗肥満薬の開発～	
配信期間 12月 9日 ～25日 第2回 大学シーズ マッチング会 in埼玉県立大学	第1講演 第2講演 第3講演 第4講演 第5講演 第6講演	製品の強みを証明！ 解析装置による動作データで差をつける 運動障害を予防する動作解析技術～理容師・美容師の手指障害を例に 健康長寿を支える口腔健康管理 口腔内を清潔に保つ歯科材料～ナノ多孔質材シリカを活用した虫歯・歯周病予防～ 障害者の社会参加を支えるオーダーメイド自助具 3Dプリンタ支援アプリで広げる障害者支援の可能性	84人

イ 産学連携フェア

開催日・テーマ	内 容	参加者数
1月22日 ～23日 産学連携フェア	彩の国ビジネスアリーナ2025での併設開催 ■大学・研究機関出展 10大学・6機関 展示ブース相談者数 267名 展示ブースマッチング 73件	1,410人

ウ 企業ニーズマッチング会

開催日・テーマ	内 容	参加者数
8月26日 10月11日 11月25日 12月12日	企業が抱えているニーズを大学・関係機関等の産学担当者にプレゼンテーション 第1回 5大学、3金融機関(13人) 第2回 4大学(5人) 第3回 3大学(4人) 第4回 4大学(7人)	29人

エ 産学連携支援メールマガジン配信回数 16回

(3) 知的財産活用支援

① 知的財産の総合相談

独立行政法人工業所有権情報・研修館（INPIT）から知財相談窓口運営業務を受託し、相談に対応するとともに、新規相談者の掘り起こしを行った。専門性の高い相談に対しては、弁理士・弁護士による専門相談を実施した。

相談件数 2, 955 件（うち専門相談 192 件）

② 知財経営力向上支援

事業環境が大きく変化する中、知財経営力向上支援セミナーを開催したほか、未来における自社の在りたい姿を構想する経営デザインシートの策定等を支援した。

ア 知財経営力向上支援セミナー

開 催 日	内 容	参加者数
12月18日	これからも勝ち（価値）残るための潜在力アップ術	53人

イ 経営デザインシートの策定等支援件数 209 件

③ 海外出願支援

中小企業の海外における特許、商標等の権利化を支援するため出願費用の補助を行った。

支援企業数	内 訳
11社	12 件（特許 11 件、商標 1 件）

④ 埼玉県発明協会からの業務受託

（一社）埼玉県発明協会と業務委託契約を締結し、「児童生徒発明創意くふう展」等の業務の一部を実施した。

(4) 事業多角化・業態転換支援

① 相談対応等の実施

コーディネーターが相談に対応するとともに事業計画策定などの支援を行った。

- ア コーディネーター 13名
- イ 相談件数 1,727件
- ウ EVシフト対応計画策定支援件数 21社

② セミナー・展示商談会等の開催

- ア セミナー等の開催

業態転換やカーボンニュートラルへの対応を支援するため、セミナー等を開催した。

(ア) 技術セミナー

開 催 日	内 容	参加者数
7月12日	① 将来モビリティに向けた日産自動車の取り組み ② カーボンニュートラル実現に向けたサステナブル材料の最新動向と期待 ③ 自動車パワートレインが求める生産技術	151人
1月23日	埼玉工大の地域公共交通への自動運転技術導入の取り組み	24人

(イ) カーボンニュートラル普及セミナー

開 催 日	内 容	参加者数
8月 2日	① LCA・CFP に係る国内外動向について～欧州の規則を事例として～ ② EU の脱炭素および循環型経済政策の概要 ③ 気候変動対応への流れ、およびコンサルサービスのご案内	99人
10月 1日	① 热処理業界における CO2 削減技術 ② カーボンニュートラルへの取組で持続可能な経営を！	65人
12月 3日	① カーボンニュートラル (CN) が自動車産業に与える影響と県内自動車部品サプライヤーに求められる対応 ② 自動車業界に求められるカーボンニュートラルへの取り組みと CFP 算出事例	76人
2月 5日	① カーボンニュートラルと地域企業の対応 ② KOBELCO グループの鉄鋼およびアルミニウムのカーボンニュートラル戦略	56人
2月 14日	① カーボンニュートラルへの対応～社会、自動車産業動向とトヨタ車体の取り組み～ ② カーボンフットプリント (CFP) ガイドラインに沿った算定のアプローチ	81人

(ウ) カーボンファットプリント算定研修

開催日	内 容	参加者数
11月13日	① カーボンファットプリントに関する基礎知識	① 22人
11月21日	② カーボンファットプリント算出方法+算出実習	② 24人
1月27日	① カーボンファットプリントに関する基礎知識	① 18人
2月 7日	② カーボンファットプリント算出方法+算出実習	② 18人

(エ) 技術講演会

開 催 日	内 容	参 加 者 数
1月23日	自動車技術の進化：電動化と自動化	101人
3月12日	① 変革期と複雑化するビジネス環境に対するシェフラーの取り組み ② 世界自動車産業の電動化と将来展望	42人

イ 大手メーカーとの展示商談会の開催

大手メーカーとのマッチング機会を提供するため、展示商談会を開催した。

開 催 日	内 容	参 加 企 業 数 (来場者数)
7月24日	マレリ向け展示商談会	25社
7月25日		(273人)
10月17日	日産自動車向け展示商談会	40社
10月18日		(373人)

ウ 改善研究会の開催

現場の改善手法を学ぶとともに、改善を継続できる人材を育成した。

開 催 日	内 容	参 加 企 業 数
4月25日 ～2月28日	TPS（トヨタ生産方式）改善研究会	6社
7月12日 ～3月24日	DX改善研究会	5社

(5) ロボット開発支援

① 相談対応、セミナー・分野別研究会の開催

ア 相談対応の実施

コーディネーターがサービスロボットの開発等に関する相談に対応した。

- (ア) コーディネーター 5名
(イ) 相談件数 308件

イ セミナー・分野別研究会の開催

ロボット産業への参入や企業間連携を支援するため、セミナーや分野別研究会を開催した。

(ア) セミナー

開 催 日	内 容	参加者数
7月26日	埼玉県スマート農業×ロボティクスセミナー・展示会	140人
9月10日	埼玉県ロボティクスセミナー介護・福祉編	148人
11月20日	埼玉県ロボティクスセミナーフード編	133人

(イ) 分野別研究会

開 催 日	内 容	参加者数
7月 8日	埼玉ロボネット分野別研究会（物流・搬送編）	31人
8月27日	埼玉ロボネット分野別研究会（農業編）	18人
10月31日	埼玉ロボネット分野別研究会（介護・福祉編第1回）	28人
12月12日	埼玉ロボネット分野別研究会（フード編）	14人
1月17日	埼玉ロボネット分野別研究会（建設・点検編）	22人
2月19日	埼玉ロボネット分野別研究会（介護・福祉編第2回）	21人

② ロボット開発プロジェクトの創出

サービスロボットの試作品開発に必要な費用を補助するとともに、コーディネーターによる支援を行った。

ア 自走式デジタルサイネージロボット

イ 農業用選別ロボットの開発製造における部品調達の内製化

(6) サーキュラーエコノミーの推進

① 普及啓発・情報発信

ア セミナーの開催

製品のリサイクル性の向上や再生材の活用、長寿命化など、設計段階から資源循環に配慮する「サーキュラーデザイン」等をテーマとしたセミナーを開催した。

(ア) サーキュラーデザインセミナー

開催日	内 容	参加者数
8月 6日	① サーキュラーデザイン・基礎編 ② サーキュラーデザイン・応用編 ③ サーキュラーデザイン・実践編 ④ ネットワーキング・交流会	133人

(イ) 埼玉×東京サーキュラーエコノミーセミナー&交流会

開催日	内 容	参加者数
11月18日	① 日本の資源循環経済政策について ② 廃衣類及び廃プラスチックの循環に関する取組 ③ 「学ぶ、感じる、やってみる」ことで進むサーキュラーエコノミー体験プログラム ④ ネットワーキング・交流会	88人

(ウ) サーキュラーエコノミーコミュニティイベント

開催日	内 容	参加者数
11月25日	① オープニング ② ワークショップ（サーキュラーコミュニティ） ③ チームディスカッションでの対話・交流	13人

イ 大規模展示商談会への出展支援

大規模展示商談会への出展支援を行い、出展企業の販路拡大を図るとともにサーキュラーエコノミーの情報を発信した。

(ア) エコプロ2024

開催期間	出展企業数	ブース来場者数
12月4日～12月6日	10社	1,267人

(イ) 彩の国ビジネスアリーナ2025

開催期間	出展企業数	ブース来場者数
1月22日～1月23日	27社	1,463人

(ウ) サーキュラー・エコノミーEXPO

開催期間	出展企業数	ブース来場者数
2月19日～2月21日	10社	1,437人

② 相談対応・マッチング支援

サーキュラーエコノミーに知見を有するコーディネーターを配置し、企業からの相談対応や事業化・販路拡大等に向けたマッチング支援を行った。

ア コーディネーター 5名
イ 相談件数 481件
ウ マッチング支援件数 51件

③ リーディングモデルの構築・展開

ア テーマ別研究会の開催

サーキュラーエコノミーに関心を持つ企業を対象に、「食」「未利用資源」「サーキュラーデザイン」のテーマ別研究会を開催し、具体的な事業化を目指した。

(ア) 食のサーキュラーエコノミー推進研究会 参加企業数 24社

開催日	内 容
5月16日	① 基調講演 ② 令和5年度の振り返り ③ 新規参加企業によるプレゼンテーション ④ グループディスカッション
9月 6日	① 事業化支援補助金採択事業紹介 ② グループ交流会 ③ 交流会
12月19日	① 令和6年度の振り返り ② グループディスカッション

(イ) 未利用資源の有効活用研究会 参加企業数 31社

開催日	内 容
5月30日	① 基調講演 ② 令和5年度の振り返り ③ 新規参加企業によるプレゼンテーション ④ グループディスカッション
9月 6日	① 事業化支援補助金採択事業紹介 ② グループ交流会 ③ 交流会
1月15日	① 令和6年度の振り返り ② グループディスカッション

(ウ) サーキュラーデザイン研究会 参加企業数 28社

開催日	内 容
10月10日	① 基調講演 ② 補助金採択企業事例紹介 ③ グループディスカッション ④ 交流会
2月 6日	① グループアイディエーション ② 交流会等

※上記のほか、グループごとに隨時オンラインミーティングを開催

イ 試作開発費用等の補助

研究会において事業化に向けた試作品開発や取組の費用を補助するとともに、コーディネーターによる支援を行った。

- (ア) 環境教育×地域資源循環 「深谷モデル」の構築
- (イ) サーキュラーエコノミーの普及・教育用製品の開発と実証
- (ウ) 和光市との協働による衣料品のリユース、リサイクルの推進
- (エ) 食品廃棄物の有効活用による食のサーキュラーエコノミーモデル創出
- (オ) 回収したペットボトルキャップ等を用いたカトラリー製造
- (カ) 未利用コメもみ殻の高度利用技術の開発

5 人材育成・情報支援

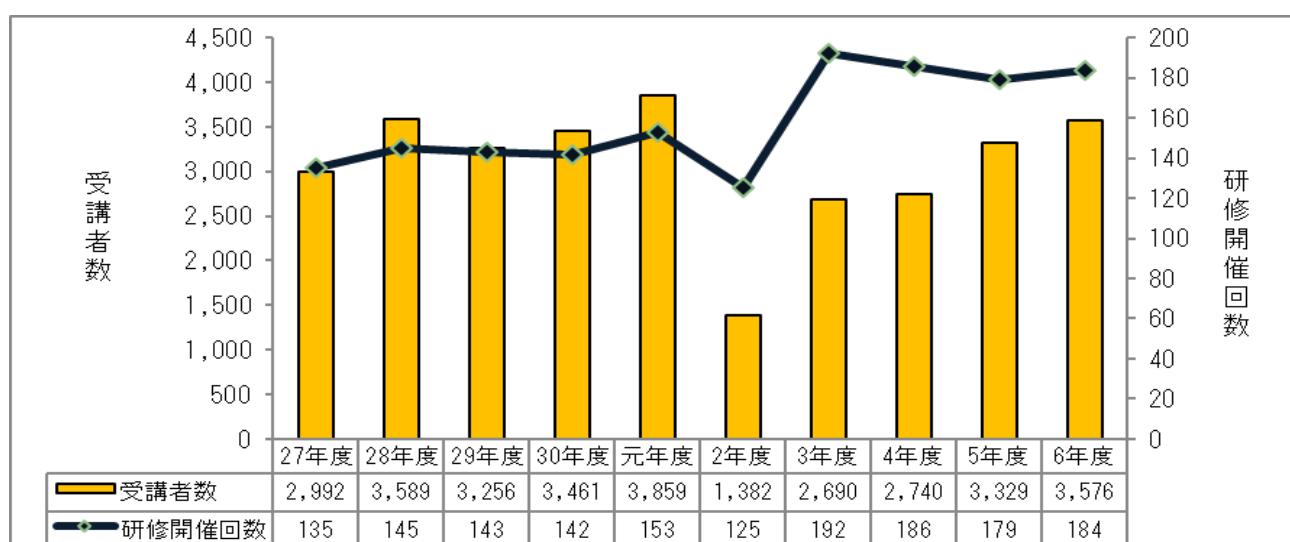
(1) 人材育成

① 研修

県内中小企業を対象とした総合研修機関として、経営環境の変化に対応できる人材の育成を目的に、新入社員から経営幹部までの各層に合わせた階層別研修や、生産現場における実践的スキルの獲得を目指す生産力向上研修などを184回開催した。

受講申込数が少なかった「自動車エンジン分解研修」などの3回は中止したものの、企業ニーズの高い階層別研修の「先輩社員のティーチング＆コーチング研修」、実務スキル研修の「ホウレンソウ強化研修」などの8回を追加開催した。

研修受講者数と開催回数の推移



ア 階層別研修

※オーダーメイド研修及び通信教育を除く

(ア) 新入社員・若手社員研修 28回

新入・若手社員を対象に、社会人としての心構えや基本的なマナー、言葉づかい、コミュニケーションとチームワークの大切さを学ぶとともに、セルフマネジメント等を通して、積極的かつ自律的に仕事に取り組むよう促す研修を開催した。

(イ) 中堅社員研修 12回

中堅社員を対象に、仕事の管理、課題解決、リーダーシップ、部下や上司とのコミュニケーション、コーチングなどのスキルや心構えを学び、果たすべき役割と責任を認識させて能力向上につなげる研修を開催した。

(ウ) 管理者研修 9回

新任管理監督者及び管理監督者を対象に、管理監督者として必要な知識・役割、リーダーシップや部下の育成等のマネジメント力について、事例演習を通して習得することのできる研修を開催した。

(エ) 経営幹部・経営者研修 4回

経営幹部・経営者を対象に、経営職の満たすべき条件や求められる対応力など、経営幹部・経営者として必要な能力向上等を図る研修を開催した。

- イ 生産力向上研修 30回
生産現場における効率化や品質向上、設備保全・安全作業などの基礎的なスキルを習得する研修を開催した。
- ウ 実務スキル向上研修 60回
業種業態にかかわらず、実務のスキルアップに役立つ知識や技法を習得する研修を開催した。
- エ 機械実技訓練研修 28回
県内中小企業の製造現場で働く若手社員を対象に、県立高等技術専門校と連携して旋盤・フライス盤・マシニングセンタなどの生産設備の基本的な使い方や、設計図の見方・作り方、材料の生かし方などを学ぶ技能研修を開催した。
- オ 地域密着研修 2回
川越・熊谷の2地域において、測定機器の基礎知識を学ぶ研修を開催した。
- カ コンパクト研修 11回
忙しい営業部門や管理職・経営幹部等にも受講しやすいように、カリキュラムをコンパクトにまとめた研修（3時間）を開催した。
- キ 特別研修
(ア) オーダーメイド研修 33回（38日間：受講者907名）
企業の個別のニーズに合わせた研修カリキュラムを設計して実施する企業訪問型の研修を開催した。
- (イ) 通信教育 41名
社員の自己啓発及び業務遂行能力の向上を図る通信教育を（株）日本能率協会マネジメントセンターと提携して実施した。

令和6年度 研修実施実績

分類		回数(回)	総日数(日)	受講者数(人)
一般研修	階層別研修	新入社員・若手社員研修	28	48
		中堅社員研修	12	21
		管理者研修	9	15
		経営幹部・経営者	4	4
		(小計)	53	88
	生産力向上研修	生産管理	9	15
		現場改善	9	13
		品質管理	5	9
		安全・保全	5	7
		購買管理	2	2
		(小計)	30	46
	実務スキル向上研修	財務・会計	2	2
		人事・労務・法務	6	7
		営業力強化	6	6
		顧客対応スキル	8	8
		コミュニケーション	5	5
		コンプライアンス・メンタルヘルス	7	7
		効率的な働き方	5	6
		問題解決力	3	3
		技法習得	6	6
		ISO	12	29
		(小計)	60	79
	機械実技訓練研修		28	72
特別研修	地域密着研修		2	2
	コンパクト研修		11	11
	一般研修 合計		184	298
	オーダーメイド企業訪問研修		33	38
通信教育		—	—	41
特別研修 合計		33	38	948
合計		217	336	4,524

② 明日を担うものづくり人材育成事業

埼玉県教育局等と連携を図りながら、将来のものづくりを担う人材の育成を図った。

ア 第34回埼玉県産業教育フェア

埼玉県教育委員会、埼玉県産業文化センター等との共催により開催した。当日は県内専門高校と企業が連携した学習体験、小・中学生の仕事体験、生徒の学習成果発表動画のWEB配信等を実施した。

期　　日	場　　所	来場者数	ホームページアクセス数
11月9日	ソニックスシティ地下1階展示場、市民ホール、鐘塚公園、小ホール	約1,300名	71,243

イ 高校生ものづくりコンテスト

県内の工業高校生を対象に埼玉県工業教育研究所が実施する「ものづくりコンテスト」に協賛し、上位入賞者に理事長賞を授与した。

開催日	部　　門	会　　場
6月15日	旋盤作業	ものつくり大学（行田市）
6月15日	化学分析	県立久喜工業高等学校（久喜市）
6月22日	電気工事	埼玉県電気工事工業組合（さいたま市）
7月24日	木材加工	日本工業大学（宮代町）
7月31日	測量	熊谷市荒川公園・熊谷市文化センター（熊谷市）
8月　5日	電子回路組立	日本工業大学（宮代町）

(2) 情報支援

① 中小企業情報提供事業

県内中小企業が直面している様々な経営課題などに関する情報等を収集・分析・加工し、情報誌やメルマガ、会員優待セミナー等で提供した。

ア 月刊情報誌「アクセス埼玉」の発行 12回

公社事業を広く紹介するほか、県内企業の紹介や法律、税制、国際化など、経営に役立つ情報を幅広く、またタイムリーに提供した。

イ アクセス埼玉文庫の発行

「アクセス埼玉」の好評連載を文庫化した『現場改善 ムダ取りの基本』シリーズ1～5巻を頒布した。

ウ 企業経営座談会の開催

開催日	内 容
11月5日	テーマ：「第1回埼玉DX大賞受賞企業の取り組み」 出席者：スリーケ株式会社 代表取締役社長 佐藤智弘様 日本メタルガスケット株式会社 代表取締役社長 植田耕司様 株式会社真工社 代表取締役社長 真子岳志様 田島石油株式会社 代表取締役 田島洋一様 司会：埼玉県産業振興公社 経営支援部DX推進支援G DXコンシェルジュ 岩崎正義 掲載月：アクセス埼玉 令和7年1月号

エ 賞与予測調査の実施

公社利用の県内中小製造業を対象とした賞与予測調査を実施し、公社会員に対して経営情報として提供した。

事 業 名	実績	概 要
賞与予測調査の実施 (2,000社対象)	2回	<夏季> ○支給予定額、支給月数ともに増加 支給する企業 82.2% (前年同期比0.1ポイント減) ・平均支給予定額 482,727円 (38,446円増) ・平均支給予定月数 1.74か月 (0.10か月増) <冬季> ○支給予定額、予定月数ともに4年連続の増加 支給する企業 85.4% (前年同期比3.6ポイント増) ・平均支給予定額 482,085円 (25,981円増) ・平均支給予定月数 1.70か月 (0.05か月増)

オ 会員優待セミナーの開催

公社会員サービスの一環として、中小企業の経営課題や話題の最新情報をテーマに、セミナーをWEBで開催した。

開催日	テマ	参加者数
6月21日	SNS×採用! ゼロから始めるソーシャルリクリーティングセミナー	60人
8月23日	若手社員の離職を組織で防止する!~若手のキモチを知ろう!~	71人

開催日	テーマ	参加者数
10月18日	すぐに使える！企業の成長につなげる人材育成の進め方	42人
10月30日	資本性劣後ローンの紹介と融資時に銀行が着目する決算書のポイント解説	29人
11月18日	成熟市場で成果を出す！マーケティング戦略セミナー	27人
2月19日	Microsoft Power Platform活用セミナー	36人
3月6日	中途採用の『今』を人材戦略のプロが教える！即戦力につながる人材獲得メソッド	44人
3月17日	リスクに強い会社づくり	25人

カ 公社会員等交流事業（公社会員感謝の集い）

公社会員企業相互の交流と企業間ネットワークづくりを促進するため、経営者、後継者、経営幹部が一堂に会する講演会及び公社事業を積極的に活用した企業事例の紹介と感謝状の贈呈を実施した。情報交換会については、降雪により参加者の安全を最優先とし中止した。

開催日	内 容	参加者数
2月5日	テーマ：「どうなる日本の政治」 講 師：読売新聞特別編集委員 橋本 五郎 氏	100人

公社会員数の推移

(単位：社)

	令和2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
公社会員数	1, 378	1, 380	1, 369	1, 379	1, 394

(令和6年度における入退会の状況)

新規入会	退会	会員数増
81	66	15

キ 動画オンライン配信及びDVDの貸出

動画オンライン配信サービスを提供するとともに、引き続き経営や技術、人材教育などに関するDVDの無料貸出を実施した。

(ア) 動画オンライン配信サービス

- ・総アクセス数 1, 672アクセス
- ・アカウント別 283アクセス

(イ) DVD貸出サービス利用数 延べ6社・26本

② デジタル活用サポート事業

県内中小企業の情報化を促進するため、デジタルスキルアップ研修等を実施した。

ア デジタルスキルアップ研修 44回（27テーマ）

利用頻度の高いビジネスソフト（表計算・プレゼンテーション）やインターネットを有効活用するための講座を開催した。

講 座 名	回数	受講者数
エクセル関連 (9テーマ)	21回	257人
パワーポイント (2テーマ)	2回	24人

講 座 名	回数	受講者数
ホームページ活用関連 (8テーマ)	9回	62人
業務効率化&営業力アップ関連 (5テーマ)	9回	130人
コンパクト (3テーマ)	3回	23人
合 計	44回	496人

イ バックリンク支援事業

公社ホームページにバックリンク専用サイトを構築し、中小企業のホームページのSEO対策を支援した。

リンク企業数 1, 144社

③ 公社内デジタル管理事業

ア 公社内デジタル管理

新たなグループウェア「Garoon」の導入・運用、デスクトップパソコンからノートパソコンへの順次更新などにより、公社内の業務効率化を推進した。

イ 公社共通データベースの構築

ノーコードツール「Kintone」を使った新たな共通データベースの運用により、効率的に顧客情報の蓄積・管理・共有を行うことで、顧客に対する迅速なサービス提供が可能となった。

ウ インターネット情報提供

公社実施事業をより積極的にPRするとともに、企業経営に役立つ情報の提供に努めた。

公社ホームページ	アクセス数 967, 818件／年
公社メールニュース	配信回数 24回 (毎月2回) 登録者数 5, 439人

6 その他

① 投資育成事業

平成16年度に統合した（財）埼玉県創造的企業投資育成財団（S A F I C（サフィック））の事業を引き継いで実施しており、投資育成事業の投資先企業3社に対して経営支援を行った。

ア 投資先企業等への支援

事 業 名	実 績	概 要
フォローアップ事業	16回	ベンチャー企業16回 個別訪問等によるフォローアップを実施

② その他

ア 職員の能力開発

公社職員の専門能力の向上を図るため、各種専門研修や公社実施の研修講座への参加を促した。

イ 公社管理運営

公社のコンプライアンス推進の一環としてハラスメント防止への意識を高めることを目的とした研修を開催した。

ウ 貸与事後処理

設備貸与事業の償却債権について、債務者又は連帯保証人に対して電話による継続的な督促を行って回収に努めた。

財務改善・業務効率化に向けた取組

1 財務改善への取組

(1) 研修事業

自主事業である研修事業において、受講者数の増加に向けた取組を実施することで収益を確保し、経常利益（一般正味財産増減額）のマイナス幅の圧縮を図った。

① 研修受講者数の増加

一般研修の受講者数増加を図るため、県内中小企業へ積極的なPR活動を行った。特に、新入社員研修のみを受講している企業に対し、その他の階層別研修等の受講の促進を図った。

令和5年度と比較し、受講率は74.2%となり、目標受講率75%には届かなかったものの、研修受講者数は247人の増加となった。

ア 受講率	74.2% (令和5年度比) (目標受講率75%)
イ 受講者数	3,576人 (令和5年度比 247人増)

② 受講料の見直し

受講者の利便性向上を図るため研修資料のカラー印刷化や、印刷の調達コストの転嫁により受講料の見直しを実施した。

2 業務効率化に向けた取組

(1) ペーパーレス化の推進

帳票類の電子化、職員用ノートパソコンの入替を推進し、紙の使用量削減を図った。一方で、イベント開催時の資料の電子化等が不十分な面があり、令和5年度比と比較し、6.5%減となり、目標削減率10%には届かなかった。

ア 紙の使用削減率 6.5%（令和5年度比）（目標削減率10%）

① システム化していない帳票類の電子化

紙で管理している帳票類を電子ファイルによる管理に刷新し、職員の利便性向上や業務の効率化を図った。

② 職員用パソコンの刷新

職員用デスクトップパソコンをノートパソコンへと入れ替え、場所を問わない会議を可能とし、印刷コストの削減を図った。

(2) 相談記録等の情報の一元管理

① 企業情報の一元管理

企業との相談内容の記録等について、複数存在していた顧客管理データベースを一元化し、部署間連携や情報の利活用を促進した。また、グループウェアを刷新し顧客管理データベースと連携させることで迅速・的確な支援の提供を可能にした。

ア 連携支援件数 88件